

鹽城時報

編輯部 鹽城郡平町鹽屋町十四
印刷部 鹽城郡平町鹽屋町十四
電話 八〇〇
發行所 鹽城郡平町鹽屋町十四
電話 八〇〇
廣告部 鹽城郡平町鹽屋町十四
電話 八〇〇
日刊(日曜、祭日)休刊

今曉平署で非常召集 平町附近を警戒

一般の戸締りが不完全だ 小田部署長感想を語る

平警察署では十七日午前零時管
内巡査七十余名の非常召集を行
ひ、内郷、湯本の三町村に亘
り警戒をなしたが、非常取締の
網にかゝつたもの四件、この中
には前科五犯野寺顯治(四七)の
大捕物の外十二所部長が平署で
検挙した驚くべき少年窃盗團等
あり好成绩をさめて午前五時
警戒を終つた小田部署長が講
評をなし、終つて素宴を催はし
た。小田部署長は語る

大賊捕はる

「從來非常召集には捕賊演習つた保線山の鐵筋用針金を窃取
等を行つたが、時代遅れの観し持ち運ぶ處を宗像、大谷の兩
がある今年に實地警戒を巡査に捕はれ余罪取調中である
行つた。登壇成績は驚く程良
好であつたが、出署の途中も
警戒して來る意味の各状に對
し之を實行した者は殆どな
つたのが遺憾である。自分で
査に捕はれた。

平町會議長制 最終町會に提案

初代議長は井上氏か

平町では永年の懸案たる町會の
議長制設定に關し内務省も廿四
名以上の定数を有する町村に對
して議長制を設けられた意上
向にあり、各方面において井上
實現を見てゐるので町議員最
高の定数三十名を擁し更に井上
茂作、萩原義雄、野崎滿藏と議
員中から三名の縣會議員を出し
且市制施行の準備中にある折柄
等種々の点から須要を感じて
るのでいよいよこの程急激に具
體化し二十四日開かる、本年最
終の町會に提案する、事となつ
たが、おそらく満場一致で
可決されるものと観られてゐる
而して來春早々議長、副議長選
挙を行ふ等早くも暗躍を開始

窃盗團「怪電組」 非常召集の大捕物

活動寫真に刺戟された 四名の不良少年團

平町字古銀治町パン屋裏居住小
太郎二男柴野高(十一)假名、内
郷村大字小島字床屋幾八長男佐
藤新七(十二)假名、同字チンビ
怪電組」を組織し平町を荒し廻

産業組合 擴充計劃

本縣に於ける産業組合擴充五ヶ
年計劃に關する石城郡内二十六
組合の組合長その他に對する指
示は十七日午前十時縣から小松
農林主事臨席して行はれたが、
指示事項左の如くである。

- 一、産業組合數及組合員數の件
- 一、産業組合の資金に關する件
- 一、産業組合事業の件
- 一、産業組合内部組織の件
- 一、産業組合聯合會の件
- 一、産業組合指導機關の件
- 一、産業組合教育宣傳の件

小名濱商港寄附 炭礦側出溢る

代表者の陳情無効

小名濱町では既報の如く鈴木町
長、小野町議兩氏が町代表とし
て先般警城、入山、右河三大炭
礦会社に十萬圓寄附方懇請に對
する回答を求め開會中の縣會に
向け報告することになつてゐる
ので三大炭礦会社の意向聴取の
ため十日東京十二日歸郷したが
その結果報告によると炭礦側と
しても容易にその請ひを應諾す
るの意見一致を見ず無期延期の
形となつた、平小鐵道敷設後
における炭礦側としての程度の
採炭輸送上現在より利益を得る
かの打算的な見地から確答を避
るで縣選出鈴木代議士に託し
て引揚た、十五日急使町議協
議會に報告するところあつたが
その旨十七日頃出縣當局に報告
する事になつた。

四倉火防督勵

四倉
消防組では十五、十六の兩日全
町の火防督勵を行つた。

猪狩氏逝く

平町田町木崎負業猪狩菊三郎
氏は二月九日午前仙臺市に於て腦
溢血を起し以來自宅に於て靜養
中であつたが十七日午前二時半
死亡した。葬儀は十八日午後二
時自宅出棺胡澤澤長源寺に於て
行はる。

收入時間延長

平町
では舊歲末に際し二十四日、二
十五(日曜)の兩日收入時間
を午前九時から午後三時まで
臨時延長した。

磐城丸の 鮭漁場調査

四倉
鮭漁場調査は既報の如く去月二十三日小名濱港を
出帆左記八ヶ所の漁場を調査し
本月十四日歸港した。

合同運送で 四名解雇

四倉
鮭漁場調査は既報の如く去月二十三日小名濱港を
出帆左記八ヶ所の漁場を調査し
本月十四日歸港した。

鮭丸の第一回鮭漁場調査は既報 の如く去月二十三日小名濱港を 出帆左記八ヶ所の漁場を調査し 本月十四日歸港した。

△第一漁場

塩屋崎東南四分
の南六百三十三度三十分
(マカチキ一本、ヨシキリ三
本、キワダ一本、ヨシキリ三
本を漁獲)

△第二漁場

塩屋崎東八分七南
五百三十三度六分(マ
カチキ八本、メバチ一本漁獲)

△第三漁場

塩屋崎東南四百
九十三度四分(マカ
チキ一本、メバチ二本、ヨシ
キリ五本漁獲)

△第四漁場

塩屋崎東南四百
九十二度三十分(メバ
チ一本、メカチキ八本、マカ
チキ一本、メカチキ二本、ヨシ
キリ四本漁獲)

△第五漁場

鹽屋崎東四分三
南四百六十度三十分(マ
カチキ二本、メバチ一本
メカチキ一本、ヨシキリ十本
漁獲)

△第六漁場

鹽屋崎東南八分
一南五十度三十分(マ
カチキ八本、ヨシキリ十五
本漁獲)

看護婦派生の需要に
平町字前町野キヨ
電話三〇七番

平町看護婦會

學生外套 折込電氣スタンド 進呈
女學オーバ

當籤番號發表

7	9	11	12	16	19	23	26	28
31	32	37	39	53	56	59	61	69
80	82	84	85	94	100	104	105	107
108	111	113	116	118	119	120	125	129
131	136	137	140	142	150	151	156	157
161	168	171	176	178	180	189	191	198
206	209	214	215	224				

參拾名様へ進呈の處御好評のため
六拾名様へ進呈
折込電氣スタンドは十七日より
廿五日まで番號券引換に差上ます

店服洋やかふ

平館割引券

平町土橋



電話四八九

二十錢券
一枚十五錢

吸入用酸素 純度 99%

度量衡
モノサシ
マス
ハカリ

秤ノ取緒・錘糸・修覆致シマス

寒暖計
体温器

關内藥局
電話四〇番

希望者は本社へ
御問ひ合

電話買受たし

大藏大臣宛
磐城無盡
共済會

腸胃 専門
十二指腸病
胃性病
村松

梅毒 専門
皮膚病
婦人病
院醫科

【番七〇一話電】町前町平

タクシー界の寵兒
皆様の昭和!!

いつも新車にて御目見得
致します
倍舊の御最負御聲援願ひます

平驛前
昭和タクシー
電話三四三番

藤沼醫院
内科 小兒科
花柳病科
(入院應需)

平町紺屋町
電話平五〇七番

嚴冬の征服者
福祿ストーブ

戸毎に福祿

四海は常春
電話三七番へ
早速持參致します
平停車場前

福祿ストーブ
福島縣一手販賣
阿部石炭店

消費節約
品質本位 家庭染料

みやぶ染

平町一丁目
特約店 大平や藥店
電話四六二番

貸切御用命ハ
ゼヒ 三井自動車部へ

電話六八五番

乗合は 好間・合戸・澤渡方面行

生花教授
家元龍生派池坊
生花、盛花、投入、自然

華道教授 天水庵 岡田華悦
平町仲町三

營業では御座いません趣味で御相手致し度うございます

父菊三郎儀永々病氣ノ處藥石効ナ
ク本日午前二時半死去致シ候間此
段及御通知候也 敬具

追テ葬送ノ儀ハ明十八日午後二時自宅出棺胡摩澤
長源寺ニ於テ執行仕可候
昭和七年十二月十七日

男 猪狩圭爾
親戚總代 丸山慶一
友人總代 佐々木健之丞
前丹野幹太郎
前澤文太郎